



2026年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月14日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
コード番号 3076 URL <https://www.aiholdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山本 裕之

TEL 03-3249-6335

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	20,270	80.6	2,039	14.7	2,279	90.2	4,109	58.1
2025年6月期第1四半期	11,222	6.3	1,778	24.4	1,198	55.5	9,818	445.8

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 4,710百万円 (43.6%) 2025年6月期第1四半期 8,356百万円 (267.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	77.13	—
2025年6月期第1四半期	199.20	—

注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、
前第1四半期連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期第1四半期	138,706	111,389	80.0	2,090.89
2025年6月期	140,906	112,065	77.7	2,103.58

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 111,030百万円 2025年6月期 109,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2026年6月期	—				
2026年6月期(予想)		55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	90,000	36.0	10,700	20.4	11,400	26.6	10,300	51.6
								193.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期1Q	56,590,410 株	2025年6月期	56,590,410 株
2026年6月期1Q	3,316,715 株	2025年6月期	3,316,677 株
2026年6月期1Q	53,273,707 株	2025年6月期1Q	49,288,218 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大、設備投資の緩やかな増加傾向などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、各国の通商政策の影響を受けた海外経済の減速リスクや物価動向については、依然として先行き不透明な状況にあります。このような経済環境のもと、当社グループにおいては資本コストを意識し、環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は202億7千万円（前年同期比80.6%増）となり、営業利益は20億3千9百万円（前年同期比14.7%増）、経常利益は22億7千9百万円（前年同期比90.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億9百万円（前年同期比58.1%減）となりました。

前中間連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。事業のセグメント別の業績は次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けは新規案件獲得や自社更新が堅調に推移し、また一般法人向けにおいても好調に案件を獲得したことにより、売上高は39億5千8百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は16億8千6百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他の事務用機器につきましては、カード機器の主要販売先である病院の設備投資の減少や、その他事務用機器の鉄骨CAD事業では主力機種切り替え期により、売上高は5億6千3百万円（前年同期比20.9%減）、セグメント利益は6千9百万円（前年同期比64.1%減）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、業務用カッティングマシンは前年発生した船荷遅延などのアクシデントはなかったものの、個人向けカッティングマシンでは欧米ホビー市場の厳しい冷え込みの影響があり、売上高は30億2千6百万円（前年同期比11.7%減）、セグメント損失は3千8百万円（前年同期はセグメント損失3千5百万円）となりました。

④ 計測機器

計測機器につきましては、従来からのグラフテック株式会社の計測事業に加え、前第1四半期連結会計期間末に連結子会社となりました岩崎通信機株式会社の電子計測事業が新たに増加したことにより、売上高は11億3千8百万円（前年同期比175.5%増）、セグメント利益は1億3百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

⑤ 情報通信

情報通信につきましては、前第1四半期連結会計期間末に連結子会社となりました岩崎通信機株式会社のビジネスホン事業、及び前連結会計年度末に連結子会社となりました株式会社ナカヨの通信機器事業が新たに増加したことにより、売上高は69億5千1百万円、セグメント利益は1億6千5百万円となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、構造設計を中心に受注が拡大し、売上高は14億7千4百万円（前年同期比15.7%増）、セグメント利益は1億5百万円（前年同期比7.9%増）と好調に推移しました。

⑦ その他

その他につきましては、売上高は31億5千8百万円（前年同期比76.3%増）、セグメント損失は4百万円（前年同期はセグメント利益3千5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて21億9千9百万円減少し、1,387億6百万円となりました。主な要因は流動資産における現金及び預金34億4千3百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産17億6千5百万円減少、原材料及び貯蔵品4億4千8百万円減少、固定資産における建物及び構築物（純額）3億3千2百万円減少、土地22億2千1百万円減少等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて15億2千3百万円減少し273億1千6百万円となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金10億4千3百万円減少、その他に含まれる預り金2億7千5百万円減少等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて6億7千6百万円減少し1,113億8千9百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益41億9百万円の計上、配当金29億3千万円の計上、非支配株主持分21億6千2百万円減少等であります。この結果、自己資本比率は80.0%となり、前連結会計年度末の77.7%より増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年8月19日付の「『2025年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）』にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,055	48,498
受取手形、売掛金及び契約資産	17,822	16,056
リース投資資産	441	362
商品及び製品	9,729	9,779
仕掛品	1,695	1,666
未成工事支出金	53	47
原材料及び貯蔵品	5,786	5,338
その他	2,705	2,677
貸倒引当金	△23	△43
流動資産合計	83,265	84,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,808	4,475
土地	23,958	21,737
その他（純額）	4,485	4,483
有形固定資産合計	33,252	30,696
無形固定資産		
のれん	1,584	1,555
その他	1,759	1,748
無形固定資産合計	3,344	3,304
投資その他の資産		
投資有価証券	5,138	5,532
関係会社株式	7,514	7,553
退職給付に係る資産	2,682	2,707
その他	5,831	4,651
貸倒引当金	△122	△122
投資その他の資産合計	21,043	20,321
固定資産合計	57,640	54,322
資産合計	140,906	138,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,851	5,808
リース債務	359	348
未払法人税等	1,574	2,035
賞与引当金	690	1,327
製品保証引当金	182	157
受注損失引当金	37	55
有償支給取引に係る負債	157	180
その他	6,713	6,593
流動負債合計	16,565	16,505
固定負債		
リース債務	705	626
退職給付に係る負債	4,259	4,069
その他	7,309	6,114
固定負債合計	12,274	10,810
負債合計	28,840	27,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	19,648	19,894
利益剰余金	82,806	83,455
自己株式	△1,676	△1,676
株主資本合計	105,778	106,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	815
為替換算調整勘定	3,188	3,391
退職給付に係る調整累計額	33	150
その他の包括利益累計額合計	3,765	4,357
非支配株主持分	2,522	359
純資産合計	112,065	111,389
負債純資産合計	140,906	138,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,222	20,270
売上原価	5,512	12,347
売上総利益	5,709	7,923
販売費及び一般管理費		
役員報酬	113	166
給料及び手当	1,140	1,837
賞与	11	1
賞与引当金繰入額	342	527
退職給付費用	62	103
その他	2,262	3,246
販売費及び一般管理費合計	3,931	5,883
営業利益	1,778	2,039
営業外収益		
受取利息	38	38
受取配当金	13	7
持分法による投資利益	—	7
為替差益	—	158
その他	10	59
営業外収益合計	61	271
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	189	—
為替差損	417	—
支払手数料	6	—
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	23	28
営業外費用合計	641	31
経常利益	1,198	2,279
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19
固定資産売却益	—	3,810
負ののれん発生益	14,296	—
その他	—	3
特別利益合計	14,296	3,832
特別損失		
固定資産除却損	0	1
棚卸資産除却損	—	65
段階取得に係る差損	5,164	—
災害による損失	—	8
特別損失合計	5,164	74
税金等調整前四半期純利益	10,330	6,037
法人税、住民税及び事業税	526	2,401
法人税等調整額	△1	△482
法人税等合計	525	1,919
四半期純利益	9,804	4,118
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,818	4,109

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	9,804	4,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	262
為替換算調整勘定	△1,405	292
退職給付に係る調整額	△1	117
持分法適用会社に対する持分相当額	44	△80
その他の包括利益合計	△1,448	592
四半期包括利益	8,356	4,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,370	4,701
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

連結子会社のうち、株式会社ナカヨ及び同社子会社の決算日は3月31日であり、従来連結財務諸表の作成にあたっては、当該連結子会社の決算日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、この変更により、2025年4月1日から2025年6月30日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	310百万円	630百万円
のれんの償却額	47百万円	29百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器	情報通信	設計事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	3,604	712	3,427	413	—	1,274	9,430	1,791	—	11,222
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	50	48	3	—	—	0	102	9	△111	—
計	3,654	760	3,430	413	—	1,274	9,533	1,800	△111	11,222
セグメント利 益又は損失 (△)	1,476	192	△35	128	—	97	1,858	35	△116	1,778

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、節電・省エネシステムの開発・製造・販売、カードリーダー・自動おしぼり製造機の製造・販売、ソフトウェアの開発・販売、セキュリティ機器・カード機器等の保守サービス、リース及び割賦事業、コールセンター事業、印刷システム事業、不動産事業等を行っております。
2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去△139百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益198百万円並びに全社費用△174百万円が含まれております。全社収益は、主に各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

前第1四半期連結会計期間において、岩崎通信機株式会社を株式交換により連結の範囲に含めたことにより、負ののれん発生益を142億9千6百万円計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益は特別利益であるため、セグメント利益には含めておりません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	情報機器	計測機器	情報通信	設計事業	計			
売上高										
外部顧客へ の売上高	3,958	563	3,026	1,138	6,951	1,474	17,111	3,158	—	20,270
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	18	1	0	—	—	0	22	99	△121	—
計	3,977	565	3,026	1,138	6,951	1,475	17,133	3,258	△121	20,270
セグメント利 益又は損失 (△)	1,686	69	△38	103	165	105	2,092	△4	△48	2,039

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、節電・省エネシステムの開発・製造・販売、カードリーダー・自動おしぼり製造機の製造・販売、ソフトウェアの開発・販売、セキュリティ機器・カード機器等の保守サービス、リース及び割賦事業、コールセンター事業、印刷システム事業、不動産事業等を行っております。
2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去△24百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益214百万円並びに全社費用△238百万円が含まれております。全社収益は、主に各グループ会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの区分変更

前連結会計年度において、株式交換により岩崎通信機株式会社及び同社の子会社を連結の範囲に含めたことにより、同社及び同社の子会社の主要事業であるビジネスホン事業を「情報通信」、電子計測事業をグラフテック株式会社の計測事業を含め「計測機器」として報告セグメントを追加しております。

また、公開買付けによる株式取得により連結子会社化した株式会社ナカヨを「情報通信」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成しており、従来「その他」としていたグラフテック株式会社の計測事業を「計測機器」として記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2024年9月1日に行われた岩崎通信機株式会社との企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、暫定的に算定された負のれん発生益の金額14,733百万円は、会計処理の確定により437百万円減少し、14,296百万円となっております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、それぞれ437百万円減少しております。

また、2025年4月9日に行われた株式会社ナカヨとの企業結合について、当第1四半期連結会計期間末においても取得原価の配分が完了していないため暫定的な会計処理を行っております。